

A  
FEATURE FILM

# AFTERGLOWS

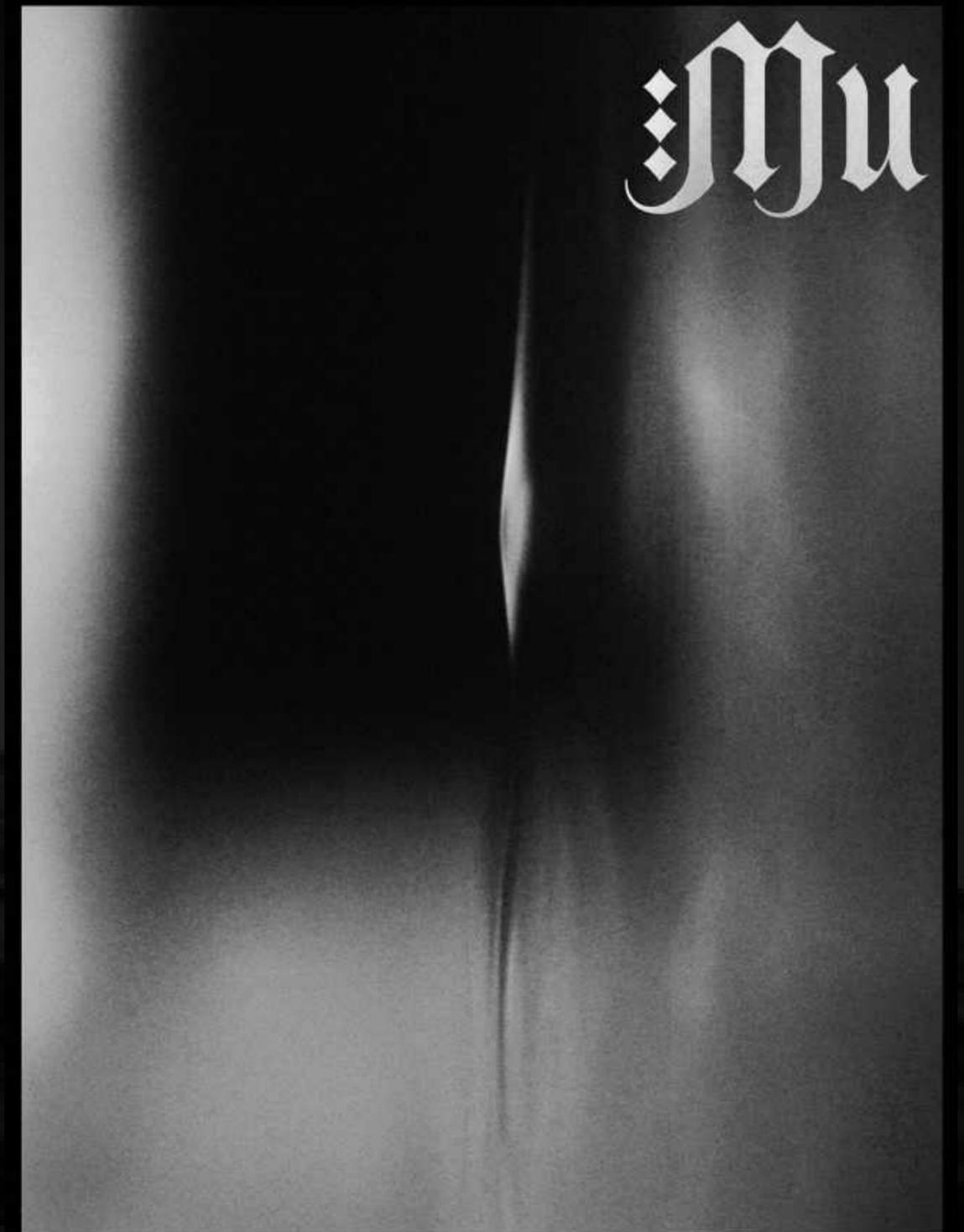
A FILM BY TAICHI KIMURA

I	INTRODUCTION	2
II	DIRECTOR'S STATEMENT	3
III	LOGLINE	4
IV	REFERENCE	5
V	SAMPLE	8

WRITTEN BY TAICHI KIMURA & TAKUMA HIRAMATSU

© 2020 all rights reserved

# Introduction



# Mu

2020年5月、短編映画「Mu」は、ボイラー・ルーム主催の映像チャンネル「4:3」にて、一般公開されました。東京に潜むユースカルチャーの暗部に光を当てた作品は、世界中から様々な評価、特に若い世代から支持を受けることになりました。本作、長編映画「AFTERGLOWS」は、短編「Mu」で築いたエッセンスを引き継ぎ、更に次のレベルへと発展させるプロジェクトです。

PRODUCTION CERAILLA DIRECTED BY TACHI KIMURA PRODUCED BY KATIE DOLAN & TAKUMA HIRAMATSU EXECUTIVE PRODUCERS NADYA WATANABE & DANIELLA MANCA  
CINEMATOGRAPHER SEIYA UEHARA LINE PRODUCER JIMMY KOTAJI TITLE DESIGN KEN HAWATA STYLING MANHARU USAMARU SCULPT & JINDOGG COSTUME DESIGNER BOILER ROOM / 4:3

    CAVAR 

WATCH IT ON VIMEO



## Director's statement

このプロジェクトを始めるにあたり「自分の初映画監督作品のテーマは何が良いのだろうか？」と常に考えていました。色々と自己分析して行くと、昔から自分が魅力を感じる映画は、「レスラー」「PUNCH DRUNK LOVE」「Pi」など、「何かに取り憑かれたかのように、好きな人や物に没頭する不器用な人間の人生」を描いた物語に惚れていた事に気がつきました。

この映画の主人公・輝も、不器用な人生を歩んできたキャラクターの一人です。狂気的な行動や感情の裏側に熱い情熱を抱き、一人の女性を心から愛したが為に、自分の人生の歯車を狂わせていった人間の一人です。

輝はストーリーが進むに連れて、さゆりへの愛の感情が暴走し、凶暴かつ狂気的な行動は人に対する思いやりや、社会的道徳、ルールからかけ離れた、批判するべき犯罪行為を生み出します。しかし、僕の視点では、輝から学べる大切な事があるのではないかと思います。

僕は、輝は「愛」の犠牲者だと感じています。人は人生で一度、何かを必ず愛しています。その多くはもちろん「人」ですが、職業、学問、芸術、娯楽、動物、更には孤独などの感情。人々は常に何かを愛し生きているはずで、「愛する」感情は夢を追いかけて来た人類の本質で、人間が生まれ持った一番美しい感情ですが、同時に、何かを愛し没頭することは、気がつくとも周りを傷をつけ、自分さえも殺して行くリスクが必ず着いてくる。

愛する=盲目になるというのは、こういう事なのではないのかと、僕は感じています。僕はこの映画を通して視聴者が、もう一度「愛する事の意味」を考える様な美しい芸術作品を、このステートメントを読んでいる皆様方と共に作り上げたいと思っております。

# Logline



一年前、不倫報道をきっかけに激しくメディアに叩かれ、ストレスで自殺してしまった元タレント歌手・小松さゆり。  
夫・守島輝は元々は大手広告代理店でコピーライトの仕事をしていたが、恵を失ったことをきっかけにタクシー運転手として生きはじめた。  
メディアへの復讐心を抱きながらも輝はラジオ番組を通して、自身の生活を赤裸々に語り、社会との繋がりを保っていた輝だが、  
ある日、財布の忘れ物を届ける際にちさよという女に出会うことで、彼の愛がまた一つ輝きを求め出した。



参

*Reference*

照



本映画は白黒で撮ることにより、強いコントラストで東京のネオンを強調し、幻想的な背景の演出を要します。  
クラシックなテイストでありながらも、白黒を使うことにより、新鮮な東京を演出することができると考え、  
色調は短編映画「Mu」を元に作り込み、都市の光と影を取り込んでいくことを試みます。



輝の幻覚のシーケンスには、広大に広がる荒野、砂浜、郊外の墓地などで撮影し、  
ダウンタウンのシーンとは対照的に、精神的な世界を捉えていく。

抄

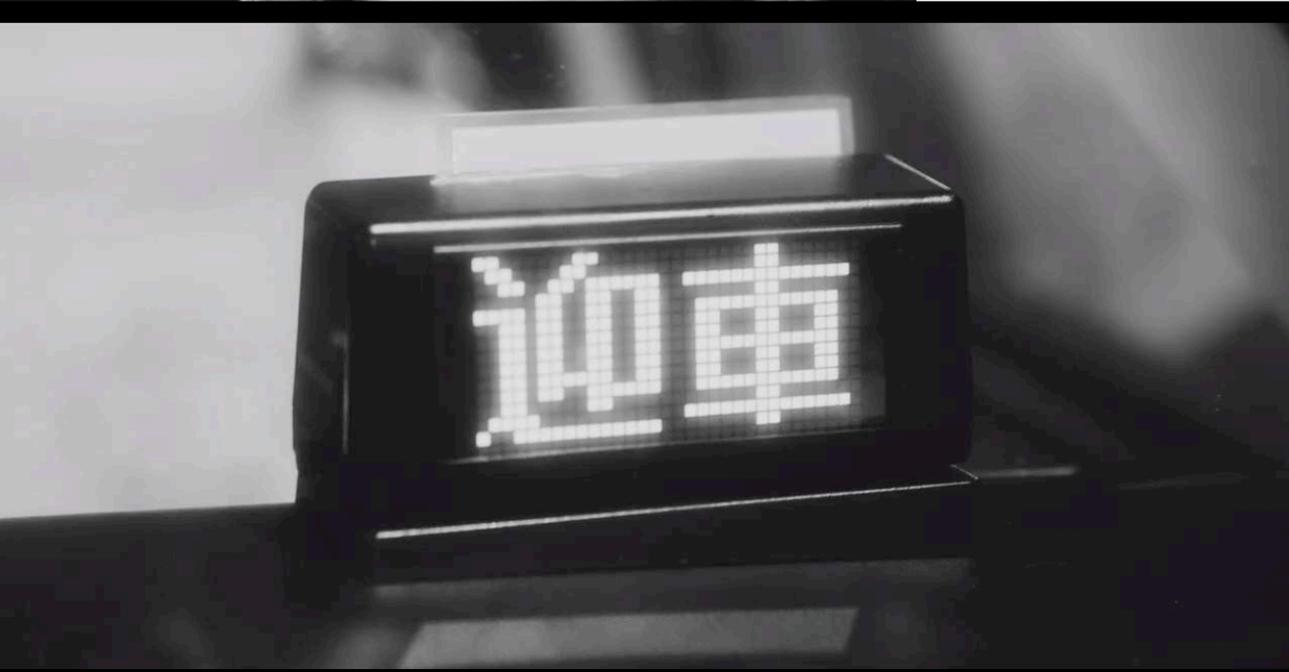
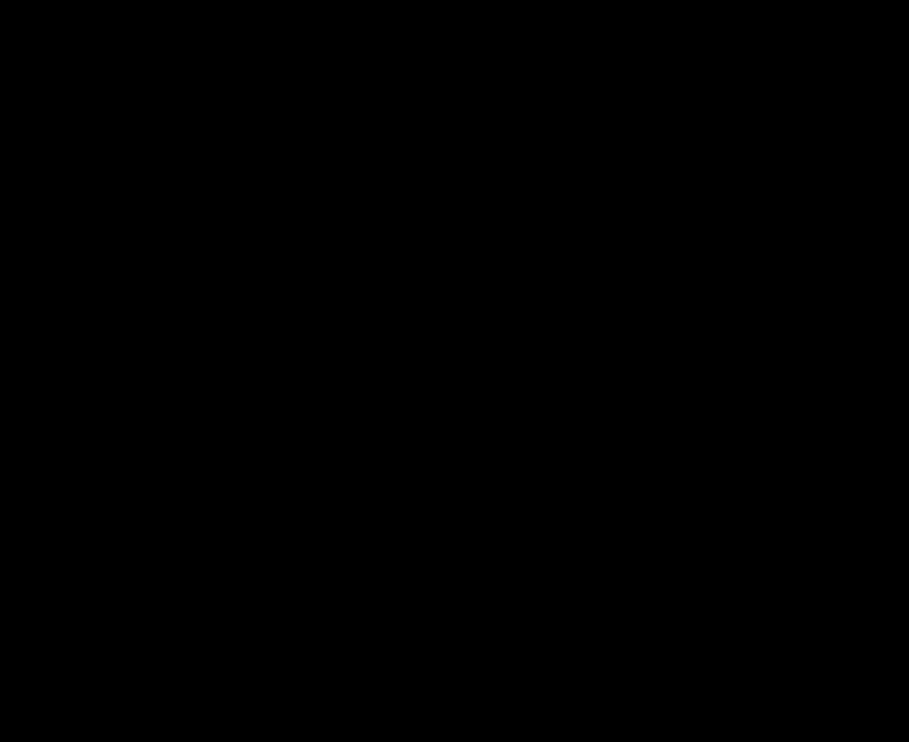
*Sample*

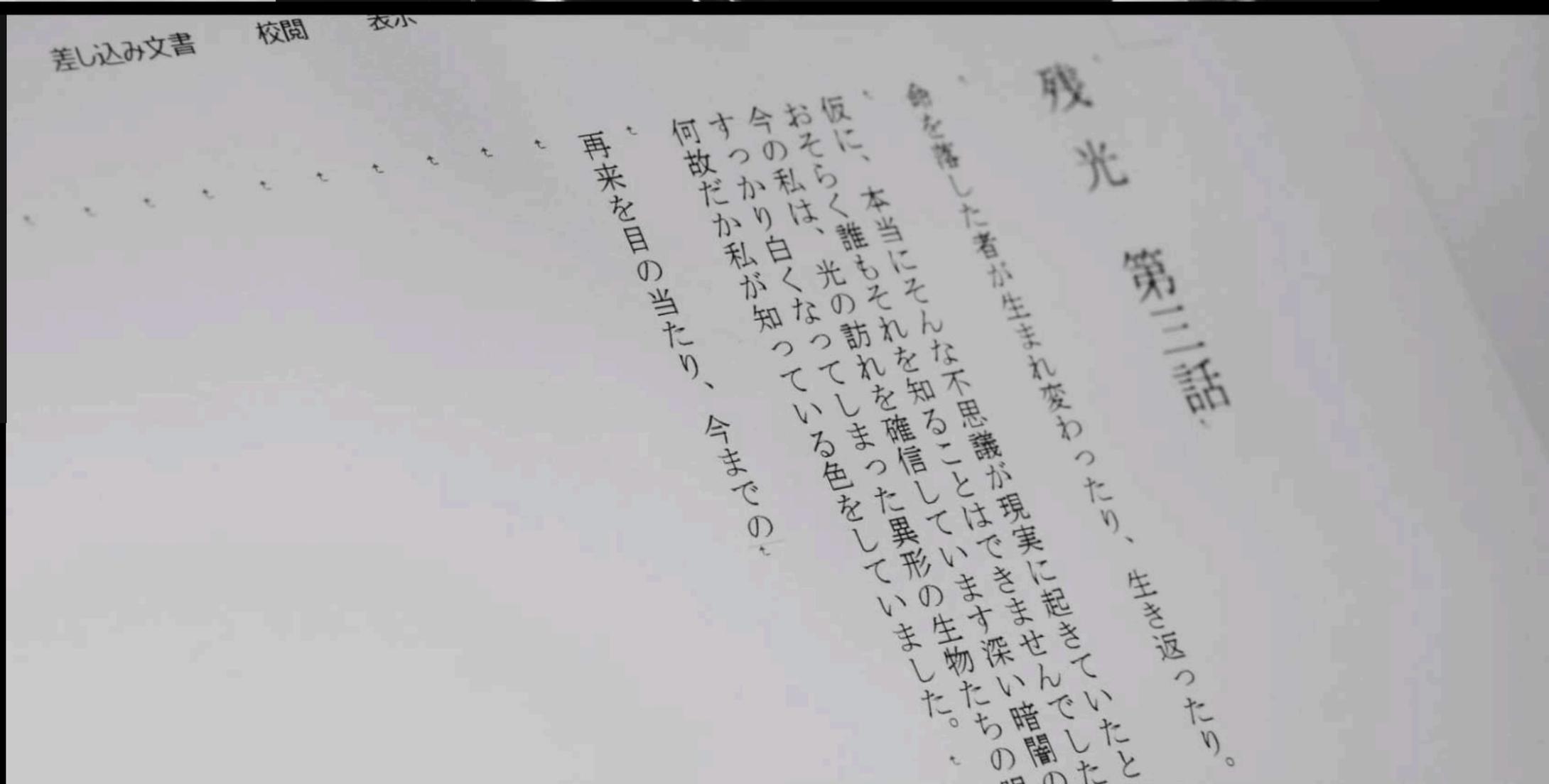
本



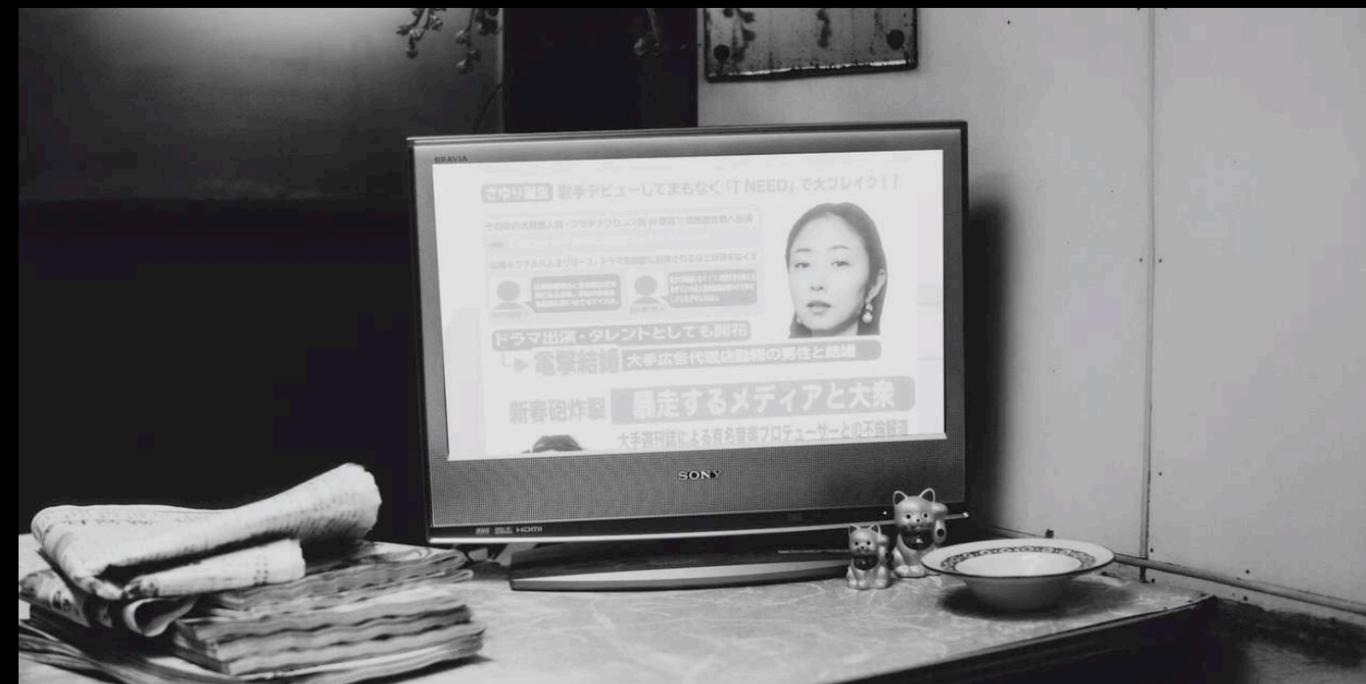


主人公の輝は亡くなった妻を追う過程で彼の愛をラジオエッセイを通してあらわにしていきます。





輝のラジオエッセイを軸にストーリーは展開し、輝とさゆり、ちさよの間で生まれる現象は、愛を渴望する人であればたとえ間違っているようにも共感する行動に見えるでしょう。



A  
FEATURE FILM

# AFTERGLOWS

T H A N K  
Y O U

あ り が と う

Contact US  
Hiroki Shirota  
[hiroki@clippictures.com](mailto:hiroki@clippictures.com)

Contact JPN  
Takuma Hiramatsu  
[hiram@spacebute.com](mailto:hiram@spacebute.com)

WRITTEN BY TAICHI KIMURA & TAKUMA HIRAMATSU

© 2020 all rights reserved